

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2019年（平成31）年第4週（1月21日～1月27日）

今週のコメント

～インフルエンザ～咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 警報レベル超え続く」

第4週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は2,426例であり、前週比8.6%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、水痘の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ7.49、2.25、0.67、0.53、0.34である。

感染性胃腸炎は前週比10%増の1,490例で、南河内15.56、中河内9.10、北河内8.82、泉州7.14、大阪市南部7.11であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は18%増の447例で、南河内3.69、堺市3.63、大阪市南部3.28、大阪市西部2.60である。

RSウイルス感染症は9%増の134例で、南河内1.13、大阪市北部1.00、大阪市西部0.80、中河内0.75、大阪市南部0.72であった。

伝染性紅斑は6%減の105例で、豊能1.41、三島0.77、大阪市北部0.71、中河内0.55、堺市0.53である。

水痘は26%増の68例で、中河内・三島0.65、泉州0.48であった。

インフルエンザは4%増の14,493例で定点あたり報告数は47.99となり、前週に引き続き警報レベル30を超えた。ブロック別では大阪市西部58.33、南河内54.92、北河内53.76、豊能50.00、堺市49.72の順に多く、11ブロックすべてで警報レベルを超えている。

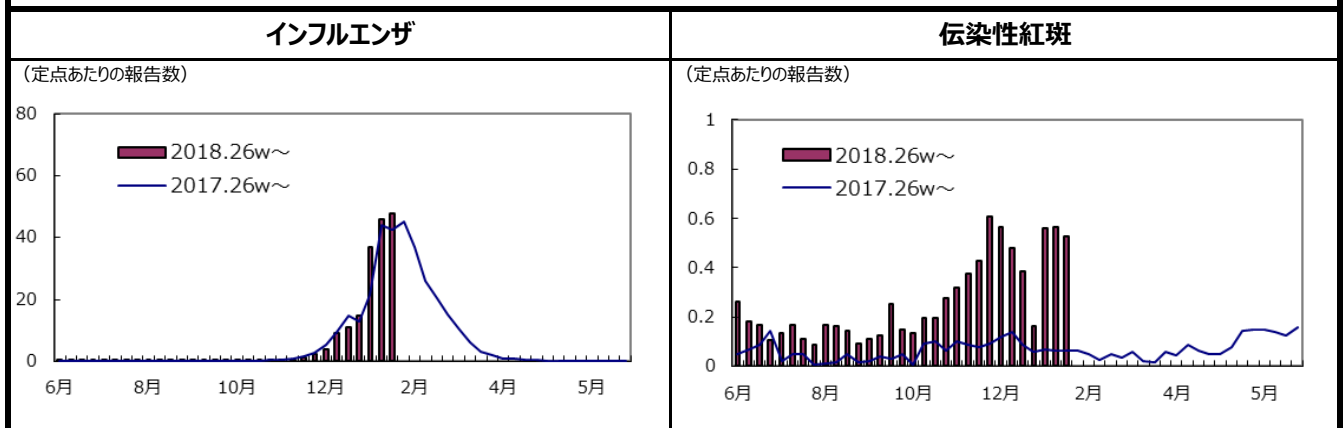


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2019（平成31）年第4週1月21日～1月27日）

第4週の順位	第3週の順位	感染症	2019年第4週の定点あたり報告数	前週比増減	2018年第4週の定点あたり報告数	2019年第4週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	7.49	10%増	5.37	1歳_17%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.25	18%増	1.88	4歳_14%
3	3	RSウイルス感染症	0.67	9%増	0.63	1歳未満_40%
4	4	伝染性紅斑	0.53	6%減	0.06	4歳_19%
5	8	水痘	0.34	26%増	0.16	3歳4歳_15%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	47.99	4%増	42.48	20歳以上_23%

第4週のコメント

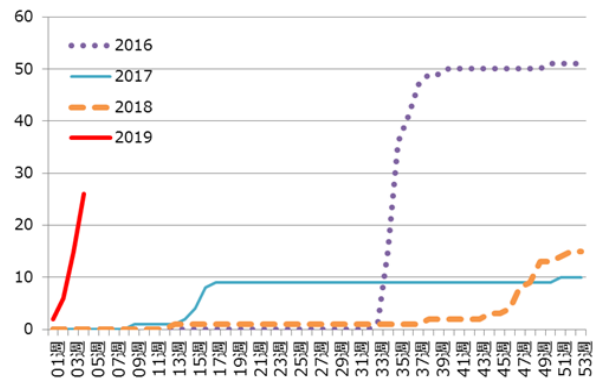
～麻しん～ ワクチンで予防可能な感染症です。2019年、大阪府内の累積感染者数は26例です。

全数把握感染症

麻しん

麻しん（はしか）は麻しんウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発しん性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発しんが出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻しん発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻しん排除国に認定されている。しかし、現在でもアジア、アフリカやヨーロッパ諸国で麻しんが流行している。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等）があり、1）1か月以内に麻しん患者と接触していた場合、2）麻しん流行国（主にアジア及びアフリカ諸国）に最近の旅行歴がある場合、麻しんを疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻しん疑いを伝え、指示に従うことが重要である。麻しんはワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。

(累積報告数)



[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)

[麻疹とは\(国立感染症研究所\)](#)

表2. 大阪府全数報告数（2019（平成31）年 第4週1月21日～1月27日）

*）注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

疾患名	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1						1		2
4類感染症	E型肝炎	1				1				2
5類感染症 (麻しん、風しんは除く)	ウイルス性肝炎	1	1							1
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2							2	10
	急性脳炎	1	1							6
	後天性免疫不全症候群	3		1					2	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1							1	8
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	2					1	1	18
	梅毒	12			1			1	10	52
	百日咳	12	1	1	1	2	1	2	4	50
結核 (2018年11月分)	結核 新登録患者数：167名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 66名) (府内累積報告数 1,673名、内 肺・喀痰塗抹陽性 652名)									
風しん、麻しん	風しん 11名 (豊能 1名、北河内 1名、中河内 2名、南河内 1名、堺市 1名、大阪市 5名、府内累積報告数 25名) 麻しん 11名 (豊能 6名、大阪市 5名、府内累積報告数 26名)									

(2019年1月29日 集計分)